



平成22年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月10日

上場会社名 株式会社 ニックス 上場取引所 JQ
 コード番号 4243 URL http://www.nix.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 伸一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 先本 孝志 TEL (045) 221-2001
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第3四半期の連結業績(平成21年10月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第3四半期	2,692	31.5	103	-	133	-	131	-
21年9月期第3四半期	2,046	△41.3	△482	-	△490	-	△491	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第3四半期	57 40	-
21年9月期第3四半期	△214 05	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第3四半期	4,714	2,051	43.5	892 58
21年9月期	4,347	1,921	44.2	836 15

(参考) 自己資本 22年9月期第3四半期 2,051百万円 21年9月期 1,921百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	---	0 00	---	0 00	0 00
22年9月期	---	0 00	---		
22年9月期(予想)				15 00	15 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 有

3. 平成22年9月期の連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	3,657	29.2	131	-	156	-	177	-	77 17	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 一社 ()、除外 一社 ()

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年9月期3Q	2,298,500株	21年9月期	2,298,500株
22年9月期3Q	37株	21年9月期	37株
22年9月期3Q	2,298,463株	21年9月期3Q	2,298,463株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
【第3四半期連結会計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間における世界経済は、各国政府による経済対策や金融安定化策により、中国をはじめとしてアジアを中心に景気回復の兆しが見られました。また、国内では引き続き不安定な雇用情勢が継続しましたが、設備投資抑制などの緩和により景気が好転する方向に進みました。

このような中、当社グループの主要販売先である事務機器業界においては、ユーザーのIT関連などへの投資意欲向上に伴い業務用プリンタ等が想定以上の販売となったことによる在庫調整が一巡いたしました。更に、中国を中心とした東南アジアへの生産シフト等による売上が大きく回復いたしました。また、生産設備業界においても設備投資意欲の改善が見られる傾向となりました。この結果、当第3四半期連結会計期間の売上高は902,540千円（前年同四半期比145.6%）となりました。

利益面につきましては、製品売上高が予想以上に回復したことに加え、人件費、販売費及び一般管理費ほかの大幅な見直し削減を継続したことにより経常利益は27,820千円（前年同四半期は141,150千円の経常損失）、四半期純利益は27,762千円（前年同四半期は142,413千円の四半期純損失）となりました。

品目別の業績を示すと、次のとおりであります。

工業用プラスチック・ファスナー及びプラスチック精密部品につきましては、住宅設備業界の低迷による売上の減少がありましたが、前述のごとく事務機器業界における在庫調整一巡や中国輸出の好調な売上増加に支えられ、売上高は719,444千円（前年同四半期比141.5%）となりました。

生産設備治具につきましては、引き続き半導体業界の回復やアジアからのニーズの増加などにより、売上高は165,569千円（前年同四半期比173.7%）となりました。

その他（金型）の売上につきましては顧客各社の設備投資抑制の緩和により微増し、売上高は17,527千円（前年同四半期比109.5%）となりました。

また、所在地別売上は、日本国内が771,860千円（前年同四半期比140.0%）、北米が14,235千円（前年同四半期比133.9%）、アジアが116,444千円（前年同四半期比200.6%）となりました。所在地別の営業利益は、日本国内が8,738千円（前年同四半期は139,464千円の営業損失）、北米が297千円（前年同四半期は14,820千円の営業損失）、アジアが18,905千円（前年同四半期比434.0%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は前連結会計年度末に比べ367,125千円増の4,714,724千円となりました。流動資産は主に売掛債権回収の増加、及び新規借入れにより現金及び預金が353,923千円、売上高増による受取手形及び売掛金が160,837千円、それぞれ増加したことにより2,124,678千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末に比べ237,434千円増の2,663,172千円となりました。流動負債は検収高増による支払手形及び買掛金が142,448千円増加し、短期借入金が96,955千円増加したものの、1年内償還予定の社債が66,000千円減少したことにより1,280,146千円となりました。固定負債は長期借入金が130,489千円増加したものの社債が123,000千円減少したことにより1,383,025千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は前連結会計年度末に比べ129,691千円増の2,051,552千円となりました。株主資本合計は利益剰余金が131,932千円増加したことにより2,081,593千円となりました。

②キャッシュ・フローの分析

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動により得られた64,957千円、投資活動により使用した44,937千円、財務活動により使用した106,744千円等により、当第3四半期連結会計期間末で1,074,608千円（前年同四半期比293,312千円増）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は64,957千円（前年同四半期は156,031千円の支出）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益27,811千円、減価償却費46,343千円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は44,937千円（前年同四半期は6,891千円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出15,860千円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は106,744千円（前年同四半期は68,216千円の支出）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出69,711千円及び社債の償還による支出36,000千円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年9月期通期の業績予想につきまして、平成22年5月13日に公表した業績予想を修正いたしました。業績予想の修正内容につきましては、本日（平成22年8月10日）別途公表しております「平成22年9月期通期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)	
1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法	当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
2. 棚卸資産の評価方法	当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。 また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。
3. 固定資産の減価償却費の算定方法	定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
4. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績やタックス・プランニングを利用する方法によっております。
5. 連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去	連結会社相互間の債権と債務の相殺消去 当該債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内で当該差異の調整を行わないで債権と債務を相殺消去しております。 連結会社相互間の取引の相殺消去 取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しいときには、親会社の金額に合わせる方法により相殺消去しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,084,747	730,823
受取手形及び売掛金	759,698	598,860
商品及び製品	157,208	117,621
仕掛品	11,826	19,962
原材料及び貯蔵品	35,033	31,476
その他	76,337	103,733
貸倒引当金	△172	△96
流動資産合計	2,124,678	1,602,380
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,753,061	1,753,061
減価償却累計額	△813,613	△776,900
建物及び構築物(純額)	939,447	976,160
土地	1,109,368	1,109,368
その他	2,206,013	2,215,688
減価償却累計額	△1,949,351	△1,910,198
その他(純額)	256,662	305,489
有形固定資産合計	2,305,478	2,391,017
無形固定資産	35,712	39,818
投資その他の資産	251,347	316,874
貸倒引当金	△2,492	△2,492
固定資産合計	2,590,045	2,745,218
資産合計	4,714,724	4,347,598
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	556,532	414,084
短期借入金	314,484	217,529
1年内償還予定の社債	240,000	306,000
未払法人税等	15,033	—
その他	154,096	106,310
流動負債合計	1,280,146	1,043,924
固定負債		
社債	138,000	261,000
長期借入金	406,864	276,375
退職給付引当金	153,585	144,531
役員退職慰労引当金	86,680	82,555
繰延税金負債	551,883	562,221
その他	46,012	55,130

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
固定負債合計	1,383,025	1,381,813
負債合計	2,663,172	2,425,737
純資産の部		
株主資本		
資本金	460,421	460,421
資本剰余金	380,421	380,421
利益剰余金	1,240,768	1,108,836
自己株式	△18	△18
株主資本合計	2,081,593	1,949,661
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,612	△4,942
繰延ヘッジ損益	2,097	4,001
為替換算調整勘定	△25,526	△26,859
評価・換算差額等合計	△30,041	△27,800
純資産合計	2,051,552	1,921,860
負債純資産合計	4,714,724	4,347,598

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
売上高	2,046,974	2,692,293
売上原価	1,296,747	1,509,069
売上総利益	750,226	1,183,224
販売費及び一般管理費	1,232,718	1,079,438
営業利益又は営業損失(△)	△482,491	103,785
営業外収益		
受取利息	1,950	500
受取配当金	438	506
不動産賃貸料	6,765	6,391
為替差益	2,118	13,774
助成金収入	—	27,784
その他	5,049	4,742
営業外収益合計	16,323	53,700
営業外費用		
支払利息	11,038	13,365
債権売却損	6,246	5,581
不動産賃貸費用	3,506	2,907
社債発行費	3,119	1,709
その他	93	65
営業外費用合計	24,004	23,629
経常利益又は経常損失(△)	△490,172	133,857
特別利益		
固定資産売却益	—	536
その他	—	1
特別利益合計	—	537
特別損失		
固定資産売却損	—	369
固定資産除却損	499	324
特別損失合計	499	693
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△490,671	133,701
法人税、住民税及び事業税	4,957	13,556
法人税等調整額	△3,654	△11,787
法人税等合計	1,302	1,769
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△491,974	131,932

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	619,810	902,540
売上原価	395,064	510,285
売上総利益	224,746	392,255
販売費及び一般管理費	372,955	377,073
営業利益又は営業損失(△)	△148,208	15,182
営業外収益		
受取利息	427	31
受取配当金	312	325
不動産賃貸料	2,156	2,127
為替差益	7,939	5,717
助成金収入	—	9,217
その他	3,345	1,874
営業外収益合計	14,182	19,293
営業外費用		
支払利息	4,506	4,154
債権売却損	1,469	1,862
不動産賃貸費用	1,121	572
その他	26	65
営業外費用合計	7,123	6,654
経常利益又は経常損失(△)	△141,150	27,820
特別利益		
その他	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	499	9
特別損失合計	499	9
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△141,649	27,811
法人税、住民税及び事業税	1,044	3,657
法人税等調整額	△281	△3,608
法人税等合計	763	49
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△142,413	27,762

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△490,671	133,701
減価償却費	166,332	128,953
固定資産除売却損益(△は益)	—	157
支払利息	11,038	13,365
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,466	9,053
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	540	4,125
売上債権の増減額(△は増加)	420,341	△162,890
たな卸資産の増減額(△は増加)	8,367	△35,547
仕入債務の増減額(△は減少)	△426,292	144,420
その他	△66,158	53,548
小計	△372,036	288,887
利息及び配当金の受取額	2,263	953
利息の支払額	△10,843	△14,422
法人税等の支払額	△27,964	2,979
営業活動によるキャッシュ・フロー	△408,581	278,397
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	100,000
有価証券の取得による支出	△9,390	—
有価証券の償還による収入	200,000	—
有形固定資産の売却による収入	—	1,950
有形固定資産の取得による支出	△97,040	△25,658
その他	205	△29,892
投資活動によるキャッシュ・フロー	93,775	46,399
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	228,803	400,000
長期借入金の返済による支出	△102,750	△172,556
社債の発行による収入	196,881	98,290
社債の償還による支出	△66,000	△289,000
配当金の支払額	△22,841	△41
リース債務の返済による支出	△8,650	△536
財務活動によるキャッシュ・フロー	225,442	36,157
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,988	△7,050
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△94,351	353,903
現金及び現金同等物の期首残高	875,647	720,705
現金及び現金同等物の四半期末残高	781,296	1,074,608

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)及び

当第3四半期連結会計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

当社グループは、工業用プラスチック・ファスナー及びプラスチック精密部品事業を展開しており、当該事業以外に事業の種類が無いため該当事項はありません。

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)及び

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)

当社グループは、工業用プラスチック・ファスナー及びプラスチック精密部品事業を展開しており、当該事業以外に事業の種類が無いため該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	551,140	10,630	58,039	619,810	—	619,810
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	52,306	—	—	52,306	(52,306)	—
計	603,446	10,630	58,039	672,116	(52,306)	619,810
営業利益又は営業損失(△)	△139,464	△14,820	4,356	△149,928	1,719	△148,208

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米・・・アメリカ合衆国

(2) アジア・・・中華人民共和国

当第3四半期連結会計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	771,860	14,235	116,444	902,540	—	902,540
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	129,630	—	—	129,630	(129,630)	—
計	901,491	14,235	116,444	1,032,171	(129,630)	902,540
営業利益	8,738	297	18,905	27,942	(12,759)	15,182

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米・・・アメリカ合衆国

(2) アジア・・・中華人民共和国

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年10月1日 至 平成21年6月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,806,580	33,653	206,739	2,046,974	—	2,046,974
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	154,434	—	—	154,434	(154,434)	—
計	1,961,015	33,653	206,739	2,201,408	(154,434)	2,046,974
営業利益又は営業損失(△)	△467,495	△52,318	22,207	△497,606	15,115	△482,491

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米・・・アメリカ合衆国

(2) アジア・・・中華人民共和国

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年10月1日 至 平成22年6月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,280,908	60,743	350,641	2,692,293	—	2,692,293
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	310,481	784	—	311,266	(311,266)	—
計	2,591,390	61,528	350,641	3,003,560	(311,266)	2,692,293
営業利益又は営業損失(△)	43,304	△918	60,103	102,489	1,296	103,785

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米・・・アメリカ合衆国

(2) アジア・・・中華人民共和国

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	10,630	85,267	3,190	99,089
II 連結売上高(千円)	—	—	—	619,810
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	1.7	13.8	0.5	16.0

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 (1) 北米・・・アメリカ合衆国
 (2) アジア・・・中華人民共和国
 (3) その他・・・欧州
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第3四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	14,235	163,537	5,372	183,145
II 連結売上高(千円)	—	—	—	902,540
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	1.6	18.1	0.6	20.3

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 (1) 北米・・・アメリカ合衆国
 (2) アジア・・・中華人民共和国
 (3) その他・・・欧州
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

前第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年6月30日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	33,653	309,103	12,770	355,527
II 連結売上高(千円)	—	—	—	2,046,974
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	1.6	15.1	0.6	17.4

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 (1) 北米・・・アメリカ合衆国
 (2) アジア・・・中華人民共和国
 (3) その他・・・欧州
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年6月30日)

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	60,743	494,932	6,775	562,451
II 連結売上高(千円)	—	—	—	2,692,293
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	2.3	18.4	0.3	20.9

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域
 (1) 北米・・・アメリカ合衆国
 (2) アジア・・・中華人民共和国
 (3) その他・・・欧州
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年6月30日)

該当事項はありません。